2025 年度　政策デザイン学科　出張講義　一覧

No.	講義タイトル	講義内容	担当教員	講義形式	開催曜日（前期）※	開催曜日（後期）※	備考
1	人と人、心と心、地域と地域をつなぐ地域通貨	2000 年代に入り、地域経済やコミュニティの活性化を目的とした地域通貨が全国各地で誕生しましたが、そのほとんどは短期間で消滅してしまいました。近年、再び地域通貨が増加していますが、前回と今回のブームの違いは、今回は公（行政）・共（地域住民）・私（企業）が密接に連携をした取り組みであるという点が挙げられます。本講義では、公・共・私連携による新たな地域通貨の取り組みを紹介するとともに、地域通貨を通じたよりよい地域づくり（地域通貨政策）の課題と可能性を考えます。	伊鹿倉正司	聴講形式	月（午後）、木、金	月（午後）、木、金（午後）	
2	移民と多文化共生	日本では多くの外国人が働いています。一般に「外国人労働者」と言いますが、人は労働だけして生きているわけではありません。外国人も地域社会の住民であるという視点が必要です。移民社会となったヨーロッパに学びつつ「多文化共生」を考えます。	石川真作	聴講形式	木、金	水、木、金	
3	福祉国家と日本の社会問題	今日の日本が抱えている社会問題について、特に、大きな課題となっている少子高齢化に際し必要不可欠な社会保障制度及び地方政府の活動について、海外の事例も参考にしながら検討していきます。日本が置かれている状況は、当然海外とは異なっています。しかし、海外の事例から得られる示唆も多くある一方、単純に日本に適応できない場合がある点に注意を払う必要もあります。	市川樹	聴講形式	月、木	月、火、水、木	

No.	講義タイトル	講義内容	担当教員	講義形式	開催曜日（前期）※	開催曜日（後期）※	備考
4	フローチャートで考える地域政策の基本方針	公共政策といわれると、中央政府や自治体といった、自分とは離れた場所の人々が行っていることに感じられるかもしれません。しかし、近年の社会問題の増加から、現在では、意外なほど、近くの人々が公共政策に関わっています。本講義では、経済モデルの考えに基づいた簡単なモデルを用いた公共政策の分析について解説します。	奥山忠裕	聴講形式	水、木	水、木	
5	多文化主義と文化的少数派の権利	文化の違いから生じる衝突や分断が指摘されるなかで、多様な文化的背景を持つ人々の共存を目指す多文化主義は、現代社会における重要な課題の一つになっています。多文化主義における文化とはどのようなものか考えた上で、先住民や移民など文化的少数派が文化を維持するために必要な権利について学びます。	河村真実	聴講形式	木、金	月、水、木、金	
6	少子高齢化と人口減少	日本では、少子高齢化と人口減少という人口の変化が進行しています。その現状や原因を確認し、急速な人口構造の変化が日本の社会・経済に与える影響について、皆さんと考えてみたいと思います。	熊沢由美	聴講形式	水（午前）、木、金（午前）	水（午前）、木、金（午前）	
7	ハンセン病隔離の歴史を知る	社会的少数者（マイノリティ）を無視した政策は、大きな人権侵害につながる可能性があります。そのひとつの事例として、近代日本が行なったハンセン病隔離政策について、被害当事者の体験から学びます。	黒坂愛衣	聴講形式	木、金	木、金	
8	日常生活とジェンダー	私たちは望むと望まざるとにかかわらず「性別」という属性を生きていて、私たちの社会は私たちがどんな性別を生きるかによって生活／人生の選択肢が異なってしまうような社会です。その社会の成り立ちと問題点を、身の周りのことから考えてみましょう。	小宮友根	聴講形式	火、木	火、木	

No.	講義タイトル	講義内容	担当教員	講義形式	開催曜日（前期）※	開催曜日（後期）※	備考
9	災害からの生活と生業の復旧・復興	2020 年代の日本社会は、東日本大震災をはじめとして、さまざまな災害に見舞われました。この講義では、仮設住宅や災害公営住宅におけるコミュニティ形成、被災農地の復旧を支援する農業ボランティアなど、各地で見られた取り組みを紹介し、今後求められる復旧・復興のあり方について、みなさんと一緒に考えたいと思います。	齊藤康則	聴講形式	火、木、金	火、水、木	
10	東南アジアの現場から学ぶ環境と開発	東南アジアで産出される資源は、日本に暮らす私たちの生活にたくさん使われています。日本から近い異文化世界である東南アジアの資源を切り口にして、環境問題や開発の問題について考えてみましょう。	佐久間香子	聴講形式	木、金	水、木、金	
11	避難所生活・被災者支援	講義またはワークショップを通して、災害後の避難所生活や被災者支援の様々な場面を疑似体験し、災害時にどのようなことに直面するのか、また、「正解」がない場面で、その時点での最善の方法を考え実践していく方法やその時に大切な考え方について一緒に考えます。	定池祐季	聴講形式	火、木、金	月、木、金	
12	格差・貧困対策にみる自治体と地方財政の役割	格差・貧困の拡大を受け、日本では多くの地方自治体が、NPO や地域住民、そして企業と連携しながらその対策に取り組んでいます。本講義では、格差・貧困対策の先進事例を紹介しつつ、自治体や地方財政の役割について、理解を深めます。	佐藤滋	聴講形式	火、木	水、木	グループワークと組み合わせることを推奨します
13	若者が直面する労働問題	私たちの社会には様々な課題があり、より良い社会の実現のためにはより良い労働の実現が不可欠です。本講義では、皆さんにとって比較的身近な「若者」をテーマとしつつ、この社会でどのような労働問題が生じているかを取り上げます。	宮地克典	聴講形式	木、金	木、金	

No.	講義タイトル	講義内容	担当教員	講義形式	開催曜日（前期）※	開催曜日（後期）※	備考
14	児童虐待とドメスティック・バイオレンス（DV）	児童虐待とDVはどちらも増加傾向にあり、社会問題化しています。この授業ではそれらの現状に加え両者の類似性と関係性について説明し、その解決・改善に向けた取り組みについて考えていきます。	武藤敦士	聴講形式	月、火、木	火、水、木	
15	マネジメントから考える問題解決の進め方	社会問題を解決するために必要なことは何か。何故解決は進まないのか。マネジメントの考え方を学びながら問題解決を進めるための考え方を学びます。	和田正春	聴講形式	月、水、木	月、火、水、木	グループワークなどにも対応しますのでご希望がありましたらご相談ください

※　「開催曜日」について

(1) 本学の授業開講期間に出張講義を行う際の開催曜日の目安となります。

(2) 「前期」は本学の「前期授業開講期間」を指します。

(3) 「後期」は本学の「後期授業開講期間」を指します。

(4) 開催曜日であっても都合により出席できない場合があります。

(5) 授業休講期間（夏休みなど）の講義開催曜日は不定となります。

(6) 本学の学事暦は本学ホームページ（https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/campuslife/schedule.html）をご確認ください。